

Title: 183



 谷瀬 錦加
3年間の集大成をアジアで発揮してきます!!
不安なこととらけですが、がんばります。

主に都市を中心に行動します。撮影方法はスナップでパキューーム。

● 最近のエントリー

- 183+42=225
(2012.10.26)
- 183+32=215
(2012.10.16)
- 183+20=203
(2012.10.04)

● アーカイブ

- 2012年11月
- 2012年10月
- 2012年09月
- 2012年08月
- 2012年07月
- 2012年06月
- 2012年05月
- 2012年04月
- 2012年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- インド/ブリーリー
- インド/マイノールより
- カンボジア/シュムリアップより
- カンボジア/プノンペンより
- シンガポールより
- タイ/サンクラブリー
- タイ/バンコクより
- ベトナム/ハノイより
- ベトナム/ホーチミンより
- マレーシア/KLより
- マレーシア/ジョトリ
- マレーシア/マラッカより
- 台湾/九份より
- 台湾/台北より
- 台湾/高雄より
- 日本/東京より
- 海の上/船の中より
- 韓国/ソウルより
- 韓国/釜山より

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



日本に慣れて行って、考えている事とか、追われている事とかが確実に変わりました。
生活している基盤が違うから当たり前の事なんだと思います。
が、しかし、向こうで感じた考えた大事な事は、変えたいと思った事は、忘れずに日本の生活に落とし込んでいきたいです。

こういった話を直接話せる機会ができました。
来月の11月7日（水）18:00~
日本写真芸術専門学校の講堂でスライドショーをやります。
個々の作品のスライドショーはもちろんですが、フィールドワーク中に行なった社会貢献の内容なども、写真を流し話す予定です。
よろしくお聴きします。

カテゴリ:

post by 谷瀬 錦加 | 日時: 2012.10.26 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

183 > 2012年10月 アーカイブ

12.10.16

183+32=215

[Tweet](#)

[Check](#)

あれから一ヶ月が経ちました。

半年間のタイムスリップは確実に過去になり始めていて、
特別な記憶として、頭の中でカテゴリー別にされています。

一ヶ月、はやかったです。
帰って一週間、は本当にしんどくて、自分でもよくわからない状態でしたが、そんな状態
も落ち書き日本になれてきました。

半年行って、自分の中の大事な事、意味のある事が大きく変化しました。
それを具体的に言葉にするのは難しいのですが、一言で言うと価値観が変わったということです。

生きて行く上で必要な事とか（考え方として）、曲げたくない部分とか、変化しました。
見た目は何も変化していないでも、中身は少しよくなりましたよ！—
（同時に帰ってからも何も変わっていない部分もあって、嫌になるんですけどね。
それも含めてどうにかします。）

二週間前から授業が始まったのですが、最初の授業の休憩中に長山に「谷瀬が授業中に話すようになった！いいよいよ！！すごいいいよ！！」と言われて思わず笑ってしまいましたが…。

富田さんにも「出発前は二時間半の授業で、3言くらいしかはなさなかつたもんな。」と言われて、なんだか懐かしくなりましたー
みなさんごめんなさい。谷瀬はよく喋ります。

私たち四人の関係は半年間の旅の中で確実に変化しました。
その変化は帰ってからも変わることなく、ほっとしました。

旅を中心とした観点で話すと、半年間、短ければ1日で移動し、長ければ二週間くらい同じ宿で生活をしていたのに比べると、今の生活は便利です。
最初は便利すぎる日本の生活に染まって行くのが怖くて仕方なかったけれど、今は、半年間向こうで生活して色々感じた事を、口だけではなくて日本に帰ってきてから実行できるようになれば良いだけだ。
と思うようになりました。

何かしら確実に変化するきっかけをもらって、それをどうにかするのは自分だと思ったから。

多分だれよりも遅く、誰よりも童の多い谷瀬が、
今更ですがプリントを始めましたー
フリー期間のプリントを始めたら、本当に旅が終わってしまうと心のどっかで思ってて、
本当に過去になってしまふとどっかでおもってて、
プリントするまでに一ヶ月かかりました。
スライドショーもあるし、カッカツになるのはわかつていたけれど、どうしても動けなか
った。

プリントしながら、旅は確実に過去になっていく音がして、旅の終わりを実感しています
が、
感傷的になったりはしていません。

早くしゃしんみたーーーい！！

荷物を整理していたら、ネバールで買った指人形が出てきました。
指人形・・・・使わないのに、見るとどうしても欲しくなっちゃうんだよね・・・・



左から、ウマ、ライオン、イヌ

カテゴリ:

post by 谷瀬 錦加 | 曰時: 2012.10.16 | [パークリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

183 > 2012年10月 アーカイブ

12.10.04

183+20=203

[Tweet](#)

[Check](#)

また一つ旅が終わりました。

今回の旅は、福島と宮城の被災地に行くという目的の旅でした。
今、日本で何が起っているのかを自分の目で実際に見に行く。
というのが具体的な目的で、

半年前までは生きしていく世界は日本しかないと・・・・ここで生活が全てなんだと思い込んでいたのに・・・

半年間の間に自分が生きてきた日本という国を、何も知らないんだ・・・・というこ
とに痛い程気づかされたので、

次に日本を出ると今までに、日本の事をちゃんと知っておこうと思ったのです。

2011.3.11に日本で起った事は、ニュースで沢山見ていたし、新聞でも沢山見ていたし、
いろんな写真家さんが通りに行っていたし・・・作品にした物を見ていたし、
ネットでも状況は知れるし・・・

と、私は日本で起った事を“知っている”と思っていた。
でもそれは、ただ“知ったつもり”になっていただけでした。

それを、本当に本当に感じました。
私は何も知らない。と思い知らされました。



TVで流れてくる手の加えられた映像でしか見た事が無い。写真家が作品にした写真しか
みたことがない・・・

日本で起った事は理解している。
あれが現実だという事も理解している。

東北に親戚もいる・・・。

それでも、去年の4月の頃に書き集めた支援物資と共に車で宮城に向かった姉が持ってきた動画が、それまで私の中での何よりもリアルなものだった。

自分に身近な人が持ってきた写真、映像が私の中で何よりも強く、現実として受け止められた。

そんな事を思い出した。

私は知っていたとおもっていたけれど、それは知ったつもりになっていただけだ。
って。
すごくすごく感じた。





知識として得る事ももちろん大事だし、情報として知っている事ももちろん大事だけれど、

見て、触れて、知ることは全く意味が違うと・・・・
思いました。

うまくいえないけど。
全然まとまってないけど。

何をどこまで勝手に理解したつもりになつていいのかわからないし、
勝手に書いていいのかわからないけれど・・・・

何も終わっていない。と思いました。
それは、半年間アジアに飛んだときに「戦争は終わっていない。」と感じたのと同じで、

自分が知らないだけで、それは存在しているし、継続しているし、跡は残っているし、
何も終わっていないんだと・・・・すごく思った。

そして、前半のスクーリングで鈴木先生に言われた
「知らない事は罪だと思え。」
の意味を、本当に理解しました。
(正直、この半年間その言葉の意味を考えて・・・
考へては「うん。そうだよなー・・・」と思っていて「ん・・・？ってどうゆうこと？」
って思っていた。
言葉としては理解しているけれど、意味としては理解していない部分があつたりして、ずっとひっかかって、ずっと考えていた言葉でした。)

そして、カメラを持って行くべきなのか？写真を撮るのか？悩んでいましたが、
結果・・・持って行き、撮りました。
撮る撮らないは現場で考えようと思って、カメラを持って行って・・・

私が写す事で、今のこの現状をリアルに感じてくれる人が一人でも増えたら良い。と思ったからです。

その写真は、握っている私なんかには全く意味がなく、存在している事実が何よりも意味
があり力を持っていて。
私はただ、その現実を写している。
その現実を残す為に、シャッターを切っている。

という一連の行為が、普段握っている写真の感覚とは正反対の物で、
写真という媒体のこととか、写す意味とか、それはなんだ？とかあればなんだ？
とか一人で問々しはじめたわけで・・・・。

個人の中の小宇宙の話になってしまっているんですが・・・。
自分の足下をよく見れて、よく知れて、
半年間の絶対に譲ったらいけない意思を思い出したりして、
頭の中で考える事を外の世界にシフトする感覚を思い出したりして、
乗り換えを間違えて1時間電車を待ったりして、
2日目にして風邪を引いたりして、

東京に帰ってきました。

最高にまとまっている日記ですが、
行けてよかったです。知れてよかったです。
私は表面を擦った通過者でしかないかもしれないけれど、それにも気づいた事がすでに変化だと思います。

この読みを、記憶ポケットをどう賢く使うかを、考えていきます。
世界は内に存在してゐるのではなく、確実に外に存在してゐる訳で、
同じ時間考えているのなら外に対しての発見だったり、外に向かって行く興味のことだっ
たりした方が有効だと思うので、
自分が見ている世界を、次元をすこし変えられるように・・・・
日本の事も“知っていたつもり”ではなくて、ちゃんと“知れる”ようにしたいとおもいま
す。

カテゴリ：
post by 谷瀬 錦加 | 日時: 2012.10.04 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

Copyright 2012 All rights reserved NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

powered by OLYMPUS